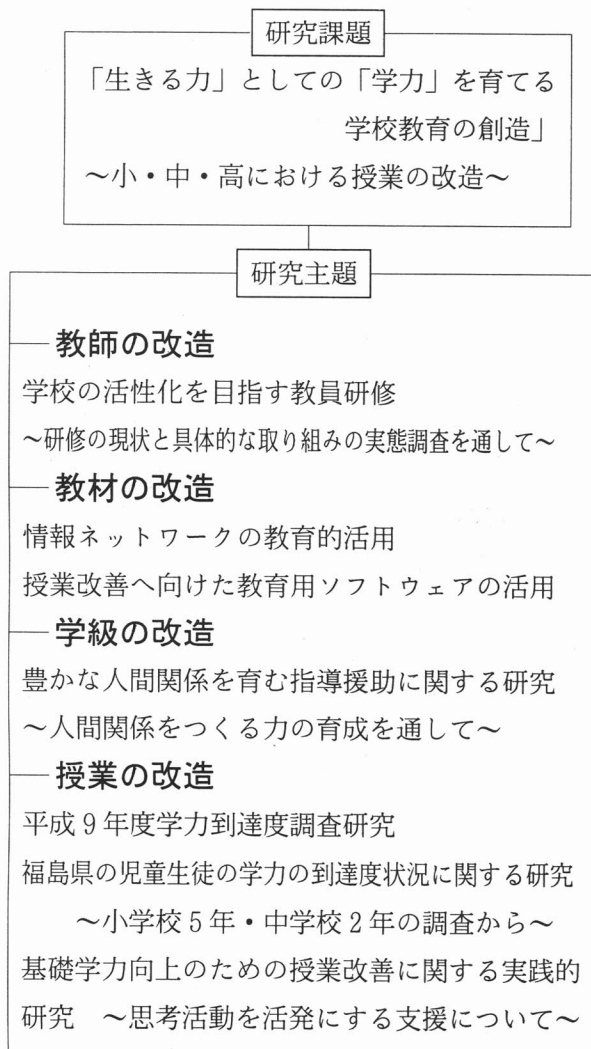


IV 研究の成果と今後の課題

1 研究の成果

- (1) 研究課題を設定し、課題設定の背景を明らかにするとともに、研究課題にかかる『『生きる力』としての『学力』』や「授業の改造」などに関する考え方をまとめることができた。
- (2) 研究課題の追究のため、教師の改造、教材の改造、学級の改造、授業の改造という4つの視点を設け、それらの視点からの研究課題への迫り方を構造化することができた。
- (3) 研究課題を追究する4つの視点ごとの研究主題を設定し、それぞれの視点から研究を推進することができた。下の図は、その研究課題と研究主題との関連である。



なお、各研究主題に関する研究は、本紀要の11ページ以降に掲載している。

2 今後の課題

- (1) 「生きる力」としての「学力」について、さらに研究を深め、「『生きる力』としての『学力』を育てる学校教育」の在り方を提言できるようにする。
- (2) 「授業の改造」にかかる各研究主題については、研究課題とのかかわりを十分考慮しながら、それぞれの視点から「授業の改造」のための具体的な提案ができるようにしたい。

【引用文献】

- (1) 週刊「教育資料」(No506, 1996年11月11日号)
菱村幸彦「生きる力, その基本的な考え方」 P.36
- (2) 月刊「教育研究」(1997年4月号)
坂井正久「生きる力は生得の力」 P.9
- (3) 月刊「教育展望」(1997年6月号)
高久清吉「『生きる力』再考」 P.11
- (4) 週刊「教育資料」(No505, 1996年11月4日号)
大原健士郎「生きる・生きがい・生きる力」 P.38
- (5) 月刊「教育展望」(1997年5月号)
中野重人「授業の質的転換」 P. 28
・ 第15期中央教育審議会答申
・ 第16期中央教育審議会答申